

## 「大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業」 中間評価結果

大学名	明治大学
-----	------

(総括評価) <b>A</b>	これまでの取組状況を継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
--------------------	--

### (コメント)

学長のリーダーシップのもとに国際化体制を強化・推進している。

このプロジェクトの特色は、学士課程に重点を置く留学生受入計画であり、留学生受入数は着実に増加している。平成22年度までの計画については、全体として目標を達成しているといえるが、平成25年度、32年度の目標は、現状と比較しても挑戦的な目標を掲げているため、今後、その達成に向けて、より一層の努力と工夫が必要と思われる。

大学院の英語コースにおいて、特に英語を母語としない学生では英語力に差がある現状が見受けられたため、留学生への英語教育について体制をより一層強化する必要があると思われる。また、大学院の英語コースで開設されている科目については日本人の履修者が少ないため、日本人との交流の機会を積極的に設けることが望まれる。

民間企業と連携して国際教育パートナーズを形成し、WEB入試制度の開発導入や、渡日前入試の推薦を計る取り組みは、ユニークであり評価される。

事業の自己評価については、大学外部の有識者から成る国際連携機構外部評価委員会を設置し、外部評価委員の評価結果を参考に改善を行っている。

また、グローバル30の活動経費のうち、現時点でも7割以上を自己資金から支出しているなど、財政支援期間終了後も十分に継続可能と思われる。